

高耐候性弱溶剤2液形反応硬化樹脂塗料

ワイドエポキシシリーズ

■JIS K5658 建築用耐候性上塗り塗料 ■JIS K5659 鋼構造物用耐候性塗料

弱溶剤

2液形

- 高耐久性
- 高付着性
- 低汚染性
- 高光沢
- 防かび性・防藻性

WIDE EPOXY SERIES

SUZUKA

ワイドエポキシシリーズ

No.9

高耐候性弱溶剤2液形反応硬化樹脂塗料



スズカケイソ株式会社

建築塗料の総合メーカー

 スズカケイソ株式会社

高耐候性弱溶剤2液形反応硬化樹脂塗料 ワイドエポールシリーズ

WIDE EPORLE SERIES

長年にわたり、ご愛顧いただいているエポールが環境に優しく更に進化しました。
ワイドエポールシリーズは、弱溶剤（塗料用シンナー）で希釈できる2液形反応硬化樹脂塗料です。
エポキシ樹脂の強力な付着力とウレタン樹脂の優れた光沢・仕上がり性、シリコン樹脂又はふっ素樹脂の高耐候性を合わせ持ち、さらに弱溶剤タイプのため、塗替え時に既存塗膜への影響が少なく、屋根・壁面・鋼構造体など幅広い用途に対応できるオールマイティーな最高級上塗塗料です。

超高耐候性弱溶剤2液形ふっ素樹脂塗料

ワイドエポールF

JIS K5658 1級 JIS K5659 1級

塗膜劣化の主要因である太陽の紫外線に対し、抜群の耐久性を持つふっ素樹脂を使用することにより、優れた耐候性を発揮します。

高耐候性弱溶剤2液形エポキシ・シリコン変性樹脂塗料

ワイドエポールSi

JIS K5658 2級 JIS K5659 2級(シルバー色除く)

シリコン変性により、汚れにくく、優れた耐候性を実現します。

弱溶剤2液形エポキシ変性ポリウレタン樹脂塗料

ワイドエポールU

JIS K5658 3級 JIS K5659 3級

エポキシ樹脂の強力な付着力とウレタン樹脂の優れた仕上がり感が得られます。

幅広い素地適応性

金属・セメント系素材・既存塗膜など幅広い素地に適します。
弱溶剤（塗料用シンナー）を使用しており、塗替などで既存塗膜の溶解やリフティング（チヂミ）が生じにくく、安心して使用できます。

高耐久性

緻密で強靱な塗膜は、紫外線、熱や酸性雨に対し優れた抵抗性を発揮し、長期にわたり厳しい自然環境から建物を守ります。

優れた仕上がり

高光沢・高隠ぺい性で、美しい仕上がりが見られます。特に優れた鮮映性で、際立った印象に仕上がります。

防かび性、防藻性

特殊な防かび・防藻剤の配合で微生物の発生を抑制します。

環境への配慮

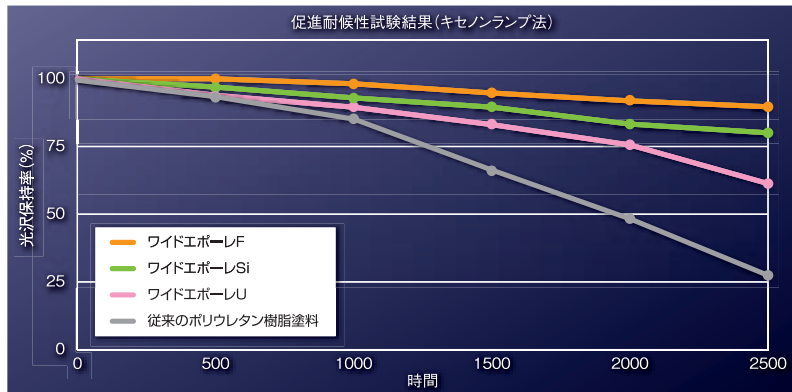
重金属（鉛・クロム）を原料に使用していません。強溶剤塗料のような刺激臭がなく、塗装環境の改善がはかれます。

優れた塗装作業性

はけ塗り・ローラー塗りでの作業性に優れています。

滑雪性

高光沢で疎水性の塗膜表面は滑雪性に優れ、積雪の多い地域の屋根用塗料として最適です。



品質性能

JIS K5659 鋼構造物用 耐候性塗料の試験に準拠

試験項目	試験結果			品質規格（JIS K5659 上塗り）	
	ワイドエポールF	ワイドエポールSi	ワイドエポールU		
容器の中での状態	合格	合格	合格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	
乾燥時間 標準状態	合格	合格	合格	8以下	
	h 5℃	合格	合格	16以下	
塗膜の外観	合格	合格	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。	
ポットライフ	合格	合格	合格	5時間で使用できること。	
隠ぺい率	97(白)	97(白)	97(白)	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄色は50以上、その他の色は80以上	
鏡面光沢度(60°)	85	88	88	70以上	
耐屈曲性	合格	合格	合格	直径10mmの折り曲げに耐えるものとする。	
耐おもり落下性(デュボン式)	合格	合格	合格	衝撃による変形で塗膜に割れ・はかれを生じないものとする。	
層間付着性 II	合格	合格	合格	異常がないものとする。	
耐アルカリ性	合格	合格 シルバーは除く	合格	アルカリに浸したとき異常がないものとする。	
耐酸性	合格	合格	合格	酸に浸したとき異常がないものとする。	
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	合格	湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。	
混合塗料中の加熱残分%	合格	合格	合格	白・淡彩は50以上 その他の色は40以上	
促進耐候性 (キセノンランプ法)	1級合格	2級合格	3級合格	照射時間:1級2,000時間、2級1,000時間 3級500時間 塗膜に割れ・はかれ・膨れがないこと 白亜化の等級が1又は0 光沢保持率 1級:2級:80%以上 3級:70%以上	
	500時間光沢保持率	100%	96%		95%
	1,000時間光沢保持率	99%	94%		—
	2,000時間光沢保持率	92%	—	—	
屋外暴露耐候性	1級合格	2級合格	3級合格	1級:光沢保持率60%以上、白亜化等級1又は0 2級:光沢保持率40%以上、白亜化等級2、1又は0 3級:光沢保持率30%以上、白亜化等級3、2、1又は0	

	危険物分類	危険等級	有機溶剤区分
ワイドエポールF	第四類第二石油類	Ⅲ	第二種
ワイドエポールSi	第四類第二石油類	Ⅲ	第二種
ワイドエポールU	第四類第二石油類	Ⅲ	第二種
ワイドエポール中塗り	第四類第二石油類	Ⅲ	第二種

屋根用カラー

色見本

↑ マースレッド(濃彩)

↑ コーヒーブラック(濃彩)

↑ フレッシュグリーン(特彩黄)

↑ ブラック(濃彩)

↑ ビバレッド(濃彩)

↑ ノアール(濃彩)

↑ モスグリーン(濃彩)

↑ チャコールグレー(濃彩)

↑ ワインブラウン(濃彩)

↑ チョコレート(濃彩)

↑ オーシャンブルー(特彩紺)

↑ ニューグレー(中彩)

↑ カカオブラウン(濃彩)

↑ ブルーブラック(特彩紺)

↑ ナスコン(特彩紺)

↑ シルバー(ワイドエポールSiのみ)
※セメント系素地には塗装
できません。

壁用カラー

↑ A001(淡彩)

↑ A500(淡彩)

↑ A303(淡彩)

↑ A602(淡彩)

↑ A002(淡彩)

↑ A352(淡彩)

↑ A350(淡彩)

↑ A607(淡彩)

↑ A005(淡彩)

↑ A403(淡彩)

↑ A358(中彩)

↑ A428(淡彩)

↑ A009(淡彩)

↑ A411(淡彩)

↑ A305(中彩)

↑ A412(中彩)

- 色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- 色によって材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。

標準(新設・塗替)塗装仕様

■金属系素地

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。 ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	エポマイルド	100(無希釈)	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

・下塗りには、ワイドさびストップ・ワイドラスノンEPO・エポブラ・さびストップの使用もできます。
・塗替時は、既存塗膜が健全な状態で、さびが発生していない場合には下塗りを省略する事ができます。

■セメント系素地

※ワイドエポレSiのシルバー色仕上げは出来ません。

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・フックボルト及び取り付け金具の発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) (特に、重なり部分や溝、金具周辺は念入に清掃する) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	ワイドシーラーEPO	100(無希釈)	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
	・屋根の場合、取付金具等については、エポマイルドをはけて拾い塗りする。 ※塗膜が薄くならないように注意する。					
上塗り	ワイドエポレシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

新設時の下塗りには、ワイド浸透シーラーEPO、ワイド浸透シーラーホワイト、クイヤシーラーEPO、ホワイトシーラーEPO、ピナクルシーラー、ピナクルホワイト、ラフソフエポキシシーラーの使用もできます。
塗替時は、既存塗膜が健全な状態であれば、下塗りを省略することができます。既存塗膜の劣化が著しい場合や、吸い込み止めを必要とする場合は、ワイドシーラーEPO、ワイド浸透シーラーEPOをご使用ください。
化粧スレート瓦に塗装する際、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー部材(タスパーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にもやむをえずスチキなどで縁切する場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

【塗装上の注意事項】

- 降雨・降雪が予想される時、強風の時などは塗装を避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- 施工面が高温(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 施工面は、十分に乾燥させてください。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じようとする既存塗膜に塗装すると、ふくれ等を発生することがあります。
- 主剤・硬化剤は正確に混合し、使用前に十分かはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使用時間にご使用ください。
- うすめずきは、たるみ、隠れ不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
- つや調整品は被塗物の形状、膜厚、色目、塗装回数、希釈率によりつやが異なって見える場合がありますのでご了承ください。施行前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。
- 塗付量の数値は標準のものです。素地の形状や状態、塗装方法、施工環境などによって増減することがあります。
- エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- JIS K 5659の指定がある場合は、ワイドエポレ中塗りをご使用ください。
ワイドエポレ中塗り
希釈:塗料用シンナー0~20% 標準塗付量:0.12~0.16kg/m²/回
塗装間隔:16時間以上 塗装方法:はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り
- 公共建築工事標準仕様書に基づく仕様の場合は、別途お問い合わせください。

【取扱い上の注意事項】

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。
(防護マスク・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど)
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車輦などに飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
また、家庭の換気口・空気取入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどを行ってください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には、炭酸ガス・粉末または泡消火器を用い初期消火をしてください。

- 次のような素地の場合、付着不良やチヂミを生じることがありますので、塗装を避けてください。
清掃が不十分で汚れが付着している素地・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
- 適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
- ドア(パッキン、ゴム)、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生や、白く離れこぼす場合がありますので、接触が予想される箇所は塗装を避けてください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起します。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフソフシリプライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材は、塗装を避けてください。)
- シャッター・歩行部分への使用は避けてください。
- ベンチ・ジャングリズムなどが乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 開缶した状態で長時間放置しないでください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000またはスズカシンナー#2000をご使用ください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- シルバー仕上げ面は、接触により皮膚や衣類に色が付く恐れがありますので、手すり等には塗装しないでください。
- ワイドエポレSiのシルバー色は、(はけやローラーで)塗装するとムラを生じる場合がありますので、エアレス塗装を推奨します。
- セメント系の屋根材(化粧スレート)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗り(ワイドシーラーEPO、ワイド浸透シーラーEPOなど)を増し塗りしてください。また、下塗り乾燥後に、ガムテープで基材表面からの剥がれがないかを確認し、剥がれがある場合は、表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。

- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
消火法などに従って保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
(雨水や直射日光の当たった場所・高温多湿の場所・潮風の当たった場所・凍結の恐れのある場所など)
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くぎ)などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 詳細な内容が必要となるときは、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗装適用範囲

適用部位	・建築物(内外部) ・鋼構造体 ・屋根
適用素地	・ 金属系素地 鋼板・鋼材・アルミ・ステンレス 金属系サイディング・トタン・カラートタンなど ・ セメント系素地 コンクリート・モルタル・スレート・PC部材 窯業系サイディング・新生瓦・セメント瓦 波スレートなど
適用旧塗膜	合成樹脂調合ペイント・フタル酸樹脂エナメル アクリル樹脂エナメル・アクリルアルキド樹脂塗料 ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料 リジン・吹付タイル(シリコン・ぶっ素樹脂塗料は不適)

塗装間隔の目安

可使用時間の目安

気温(℃)	5	23	30	40	気温(℃)					
屋根以外の塗装の場合(h)	8	5	4	3	可使用時間(h)	F	10	5	3	2
屋根塗装の場合(h)	48	16	12	8		Si	13	8	5	2.5
						U	13	8	5	2.5

荷姿

- ワイドエポレF
14kgセット(主剤13kg 硬化剤1kg)
2.8kgセット(主剤2.6kg 硬化剤0.2kg)
- ワイドエポレSi ●ワイドエポレU
16kgセット(主剤15kg 硬化剤1kg)
3.2kgセット(主剤3kg 硬化剤0.2kg)
- ワイドエポレ中塗り
16kgセット(主剤15kg 硬化剤1kg)
3.2kgセット(主剤3kg 硬化剤0.2kg)
(JIS K5659 鋼構造物用耐候性塗料 中塗り塗料
JASS 18 M-405 常温乾燥形ぶっ素樹脂塗料用中塗り
JASS 18 M-404 アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り
JASS 18 M-403 2液形ポリウレタンエナメル用中塗り)
- エポマイルド ●ワイドシーラーEPO
16kg、4kg 14kg

色相

白、黒、赤、赤さび色、オーカー色、黄色、紺、シルバー(Siのみ)、調色品(淡彩色、中彩色、濃彩色)

仕上がり

つやあり、7分つや、5分つや、3分つや
※つや調整品は、JIS認証外となります。
※ワイドエポレSiのシルバーのつや調整はできません。
※つや調整品は、色及び下地の状態により、つやの見え方が異なります。また、製品によっても異なります。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店